

第1回対策委員会を開催

地域特性を踏まえた対策の検討を

秩父市では、セーフコミュニティの国際認証取得を目指して取り組んでいます。

8月19日、具体的な事故やケガの予防対策を検討していくための第1回対策委員会を開催しました。

これまで収集した救急搬送データや警察統計、各種の行政データ等を分析し、秩父市の事故やケガの特性を踏まえて、7つの分野で対策委員会を設置しました。各分野における課題をいくつか紹介します。

①交通安全

国道140号での事故が多い
日中・休日の事故が多い

②高齢者の安全

単身高齢者が増加している

転倒によるケガが多い

③子どもの安全

小学生は休憩時間中のケガが多い
中学生は体育的部活動中のケガが多い

④自殺予防

健康問題による自殺が多い
中高年齢者の自殺が多い

⑤災害時の安全

土砂災害危険箇所が多い
災害時の避難方法や情報入手を心配している人が多い

⑥犯罪の防止

刑法犯認知件数が横ばい
市街地での犯罪が比較的多い

⑦自然の中での安全

ハチ刺されのケガが多い
登山中や河川などでの事故がある

各対策委員会には、それぞれの分野で日ごろ安心・安全なまちづくりに取り組まれている組織や団体の皆さんに参加していただいています。

今後、1年半ほどかけて、秩父市の地域特性を踏まえた課題解決に向けた具体的な対策を検討していただく予定です。

問 危機管理課 22 | 2206

